



パイプオルガン初級講座 part.2

～教会暦を学びつつコラールを歌い、オルガンを弾きましょう～

講 師	米沢 (鎬木) 陽子 (看護学部教授)
開講日時	5月8日 (火)、6月12日 (火)、7月10日 (火)、10月9日 (火)、11月13日 (火)、12月11日 (火)、平成31年1月15日 (火)、2月12日 (火) (全8回) 10:40～12:20
会 場	東京純心大学 (江角記念講堂)
内 容	教会暦にちなんだ聖歌・讃美歌を取り上げ、まず歌い、歌詞の内容を理解した上で、その旋律にもとづくコラール編曲 (オルガン曲) を弾きましょう。歌詞と音型との関係についても取り上げる予定です。 各回のテーマは、第1回:復活節、第2回:聖霊降臨節、第3回:聖母訪問 (マニフィカト)、第4回:三位一体節、第5回:待降節 第6回:降誕節、第7回:公現節、第8回:受難節 (四旬節) ※昨年度とは異なるコラールを選曲します。
対 象	高校生以上 ※備考欄要確認
定 員	実技生:5名 応募多数の場合、抽選とさせていただきます 聴講生:定員なし
受 講 料	実技生:16,000円 (全8回) 聴講生:1,000円 (全8回) ※受講料の納入 (P16) をご確認ください
持 ち 物	筆記用具、課題曲の楽譜 (事前にご送付いたします)、ペダルを使用する曲を演奏される方はオルガンシューズ (お問い合わせください)
備 考	受講条件:バッハの2声のインヴェンションまたは讃美歌 (4声) が難なく弾ける程度の鍵盤楽器の経験がある方

講師プロフィール

東京藝術大学大学院博士後期課程 (古楽科バロックオルガン専攻) 修了。
学位論文『ザムエル・シャイト タブラトゥアラ・ノヴァ研究―その成立過程と鍵盤音楽史における意義』により博士号 (音楽) を取得。主たる研究領域は16～18世紀ドイツのオルガン音楽。カトリック山手教会、日黒教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会、キリスト教礼拝音楽学会、日本音楽学会会員。東京純心大学看護学部教授。

講師からみたくまへ

教会で奏楽をされている方、これから奏楽をしたいと思っいらっしゃる方の受講を歓迎いたしますが、教会音楽やオルガン音楽に関心をお持ちの方もどうぞご参加ください。グループレッスン形式ですので予め課題曲の練習を十分になさって講座に臨んでください。

